

平成31年度 市川市立大和田小学校の教育

【 学校教育目標 】

「夢の実現へ めあてをもって学ぶ子」を育成する

— 街とともに伸びる「大和田の子」 —

人のつながり〔子ども・保護者・教職員〕、場のつながり〔地域・ブロック〕、時間のつながり〔伝統・実績・小中学校〕を大切にし、知育・徳育・体育の調和のとれた子どもの育成をめざす

めざす子どもの姿

- ・よく考え、伝えあい、学びあって高めよう
- ・みんなと仲よく、協力し合って、楽しい学校生活を送ろう
- ・ねばり強くやりぬく身体をつくろう

めざす教職員の姿

- ・子ども一人ひとりをよく理解し、個性を活かす教職員
- ・保護者の思いや願いを受け止め、信頼される教職員
- ・専門性を高め、指導力の向上を図る教職員
- ・心身とも健康で、人間性豊かな教職員

めざす学校の姿

- ・夢のある楽しい学校
- ・質の高い教育の実現をめざす学校
- ・セキュリティの高い、環境に配慮した学校
- ・地域に根ざした開かれた学校

【 経営重点 】

重点目標

つながりと調和

— 確かな学力を育てる —

- ・基礎・基本の習得と活用力の育成
- ・個に応じたきめ細かな指導の充実
- ・言語活動の充実
- ・生徒指導の機能を活かした授業の推進
- ・校内研究の推進、課題研修の充実
- ・地域の人材等を活用した体験学習の充実
- ・ICT や学校図書館機能を活用した学習の推進
- ・家庭学習の習慣化

— 豊かな心を育てる —

- ・道徳教育、人権教育、命を大切にする意識を育む教育活動の充実
- ・あいさつができる子の育成
- ・学校生活におけるマナー・ルールの育成
- ・地域施設、環境を活かした情操教育の推進
- ・体験活動、交流活動の促進
- ・特別支援教育推進体制の確立
- ・美しい日本語が使える子どもの育成
- ・読書活動の充実

— 健やかな体を育てる —

- ・日常の体力づくりを進める
- ・生活リズムの確立
- ・学校給食と食育指導の充実
- ・体力づくり環境の整備
- ・安全、環境衛生の整備

— 信頼される開かれた学校づくり —

- ・安全、安心の学校づくり
- ・積極的な情報提供と学校公開
- ・学校評価を基としたPDCAサイクルの確立
- ・学校運営協議会を核とした保護者、地域の方々との連携

— 協働する学校づくりを進める —

- ・支え合うチームワーク、組織力
- ・学校行事の内容及び取り組み方の再考
- ・学校事務の効率化
- ・校務支援システムの推進

経営重点の具体的な施策

平成31年度 大和田小学校

— 確かな学力を育てる —

- ① 基礎・基本の習得と活用力の育成
 - ・本校における学力テスト等の結果を分析し、子どもの実態に基づいた重点的な指導を進める
 - ・漢字の読み書きや計算等、基礎的な知識・技能の確実な定着を図る
〔授業での繰り返し学習、朝のトレーニングタイムの活用、夏季休業中のまなびくらぶの開催等〕
 - ・活用力を身につけるために、ノート指導を着実に積み上げるとともに、説明・論述・討論等の学習活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを行う
- ② 個に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・各教科においてできるだけ、少人数指導やT T指導について充実を図る
- ③ 言語活動の充実
 - ・校内研究を基軸に、これまで取り組んできた「話す活動」、「聞く活動」、「話し合う活動」、「書く活動」から「伝え合う力」の一層の育成を図る
- ④ 生徒指導の機能を活かした授業の推進
 - ・日常の授業の中で、「自己存在感」を与える授業、「自己決定の場」のある授業、「共感的な人間関係」を育てる授業を目指す
 - ・授業の中で、学習規律やマナーの向上や心の育成を図る
- ⑤ 校内研究の推進、課題研修の充実
 - ・授業研究を中心とした校内研究を推進し、教員の指導力の向上を図る。授業研の公開
 - ・国語科の授業研究で年間一人1授業研究、経験年数6年未満教員一人2授業研究を行う
 - ・子どもの問題行動、特別支援教育等学校の課題や教育の今日的な課題について研修を深める
- ⑥ 地域の人材等を活用した体験学習の充実
 - ・八中ブロックの地域支援システムを構築し、地域の人材、公共機関、近隣施設〔ディケア・サービス、保育園等〕市川工業高校等の連携を図り、キャリア教育の推進
- ⑦ ICT や学校図書館機能を活用した学習の推進
 - ・コンピュータやインターネット等ICT機器を活用し、児童の学習への興味関心を高める
 - ・学校図書館資料を活用した調べ学習や表現学習の推進
- ⑧ 家庭学習の習慣化
 - ・八中ブロックで作成したリーフレットをもとに家庭への啓発を図る
 - ・夏季休業中における「まなびくらぶ」の実施

— 豊かな心を育てる —

- ① 道徳教育、人権教育、命を大切にすること意識を育む教育活動の充実
 - ・いじめ、暴力行為、児童虐待等の早期発見、早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を図りながら根絶に向けた取り組みを進める 生活アンケートの実施〔6月・12月〕
 - ・児童の内面に根ざした道徳性の育成を図るとともに、心に響く道徳授業の充実に努める
 - ・人権週間を設定〔12月〕命を大切にすること教育に学校全体で取り組む
全校朝会での呼びかけ、代表委員会の取り組み、PTAからの手紙、標語づくり等
- ② あいさつができる子の育成

- ・日常的なあいさつが自分からできるようにするとともに、八中ブロック各校との連携を図り、登下校を中心としたあいさつ運動を推進する〔職員によるあいさつ声掛け、保護者によるふれあい登校、代表委員会による取り組み八中ブロックのあいさつ強化週間 11～12月〕
- ・基本的な生活習慣、きまりを守るなどの指導は、家庭・地域と連携し、継続的に力を入れて取り組み、定着を図る
- ・学習ルールの定着をめざし、八中ブロックで連携を図り取り組んでいく
- ③ 地域施設・環境を活かした情操教育の推進
 - ・市川市文化会館の活用 「春をよぶコンサート・卒業を祝う会」、「心の劇場」、「作品展の参観」、「芸術鑑賞」、音楽集会、その他 近隣の公共施設及び商業施設の活用
- ④ 体験・交流活動の促進
 - ・異年齢交流、異世代交流を計画的に実施し、ふれあいを深め、豊かな人間関係づくりを進める。
 - ・仲よし学年の交流体験、幼稚園・中学校・地域の方・保護者との交流〔歩き遠足、仲よし給食、ふれあいフェスティバル、昔の遊び等〕
- ⑤ 特別支援教育推進体制の確立
 - ・普通学級における障害を持つ子どもや特に配慮を要する子どもについての共通理解を図り、全校体制を整える「ケース会議」
 - ・保護者の希望による申し出を受け、「市川スマイルプラン」の整備を図る
 - ・専門機関、アドバイザーとの連携を図り、指導や助言をもとに子どもへの指導の改善や研修会の充実を図る
- ⑥ 美しい日本語が使える子どもの育成
 - ・学校教育活動全体を通して、言語に関する指導や伝統文化的教育活動を計画的に進める〔言葉づかい、言語感覚、百人一首、和楽器体験、その他日本の伝統文化的活動〕
- ⑦ 読書活動の充実
 - ・朝読書の時間を日課に位置付けるとともに、読書月間、読書集会、ボランティアサークルによる読み聞かせの充実を図り、読書好きの子どもを育てる

— 健やかな体を育てる —

- ① 日常の体力づくりを進める
 - ・新体力テストなどで実態を把握し、日常体育の充実を図る。
 - ・木曜日のわくわくタイムの時間を35分に延長し、外遊びを奨励することによって、遊びを通して体力づくりを進める
 - ・「遊・友スポーツランキングちば」への参加を増やし、めあてを持って取り組む
 - ・体力向上に向け、体育委員会の取り組みを充実させる
 - ・八中ブロックの若年層教員を対象に体育授業研を開催し、自校における正課体育の充実を図る
- ② 生活リズムの確立
 - ・生活リズムカードを年2回配布し〔6月・12月〕、一週間ずつ記録させることにより、子どもが自らの生活を見直し、改善していこうとする態度を育てるとともに、家庭への啓発活動を進める
- ③ 学校給食と食育指導の充実
 - ・食物アレルギーへの対応について全職員で周知徹底を図る
 - ・食材の衛生管理の徹底と適切な調理法、地産地消・季節感のある献立の工夫等を行い、安全でおいしい給食の提供に努める

- ・残菜がすくなくなるように食育の充実に努める

④ 体力づくり環境の整備

- ・専門家による指導や保健体育課主催事業等、運動への関心を高める取り組みを検討する

⑤ 安全、環境衛生の整備

- ・安全点検の徹底、安全な遊具の使い方の周知、危険予知及び回避能力の育成等けがの防止に努める

— 信頼される開かれた学校づくりを進める —

① 安全・安心の学校づくり

- ・通学路防災マップをもとに、安全教育における効果的な活用方法を検討する。
- ・小学校区防災拠点協議会に参加し、地域防災における学校の役割を明確にし、地域との協力体制づくりをする。又、避難・引渡し訓練や安全点検、安全教育等の更なる改善を図っていく
- ・門扉のオートロック化、防犯カメラによる監視等、セキュリティには万全を図っている
- ・登校時の教職員による交通安全指導、保護者によるあいさつ声かけ、下校時の教職員によるパトロール、保護者、地域の方々によるパトロールを継続して実施し、子どもの安全確保を図る
- ・安全点検を強化し、児童の危険予知能力、危険回避能力の育成等安全教育の充実に努める

② 積極的な情報提供と学校公開

- ・学校の経営方針を中心とした「学校だより」と児童の活動を中心とした「おおわだっ子」を定期的に発行し、各種たより、ホームページ等の内容の充実に努め、学校教育への理解を深める
- ・学習参観、オープンスクールの一層の推進を図る
- ・全校一斉メール配信システムを活用し、さまざまな情報提供に努めるとともに、緊急時における迅速な連絡体制を確立する

③ 学校評価と学校運営協議会の充実

- ・学校評価については、教職員自己評価、保護者学校生活アンケートの評価項目を基本的に継続し、3カ年計画をふまえた修正を加えて、その結果の推移を見ながら学校改善に活かす
- ・学校運営協議会においては、毎回授業参観、教職員への聞き取り、児童との交流を実施し、学校の現状を把握したうえでご示唆、ご意見をいただくとともに、学校運営への参画を促す。

④ 保護者、地域の方々との連携

- ・学校運営協議会、懇談会、個人面談、連絡帳、電話連絡等を通して、保護者の要望や意見には耳をかたむけ、誠実に迅速に対応する（報連相）
- ・PTA活動には積極的に参加、協力し、保護者との信頼関係を強める

— 協働する学校づくりを進める —

① 支え合うチームワーク、組織力

- ・役割を超えた行動、同僚への支持・支援的な行動、組織の一員として自覚に立った行動
- ・不登校対策、特別支援対策、問題行動対策等

② 学校行事の内容及び取り組み方の再考

- ・協議事項、連絡・報告事項の分類、学校行事の時期・内容・時期等について検討・改善

③ 学校事務の効率化

- ・学校行事の内容及び取り組み方の再考、教育情報・資料の蓄積と活用

④ 校務支援システムの推進